

At a Glance

国内で唯一上場している信託グループ

三井住友トラストグループは、預金や住宅ローンなどの銀行ビジネスだけではなく、資産運用・資産管理、不動産など幅広い信託関連ビジネスを展開し、独自の価値を創造しています。

①三井住友トラストグループ はやわかり (2025年3月末時点)

基本情報

創業日 1924年4月15日

創業 101年

従業員数 23,125人

拠点数※ 国内 147カ所 海外 10カ所

時価総額 2.7兆円

1924年に信託会社として設立し、1948年から銀行業務を開始しました。以来、信託と銀行の機能を融合させた独自のビジネスモデルを築いてきました。国内外のグループ会社が連携し、多様なニーズに応える総合力を強みにしています。

※三井住友信託銀行

残高

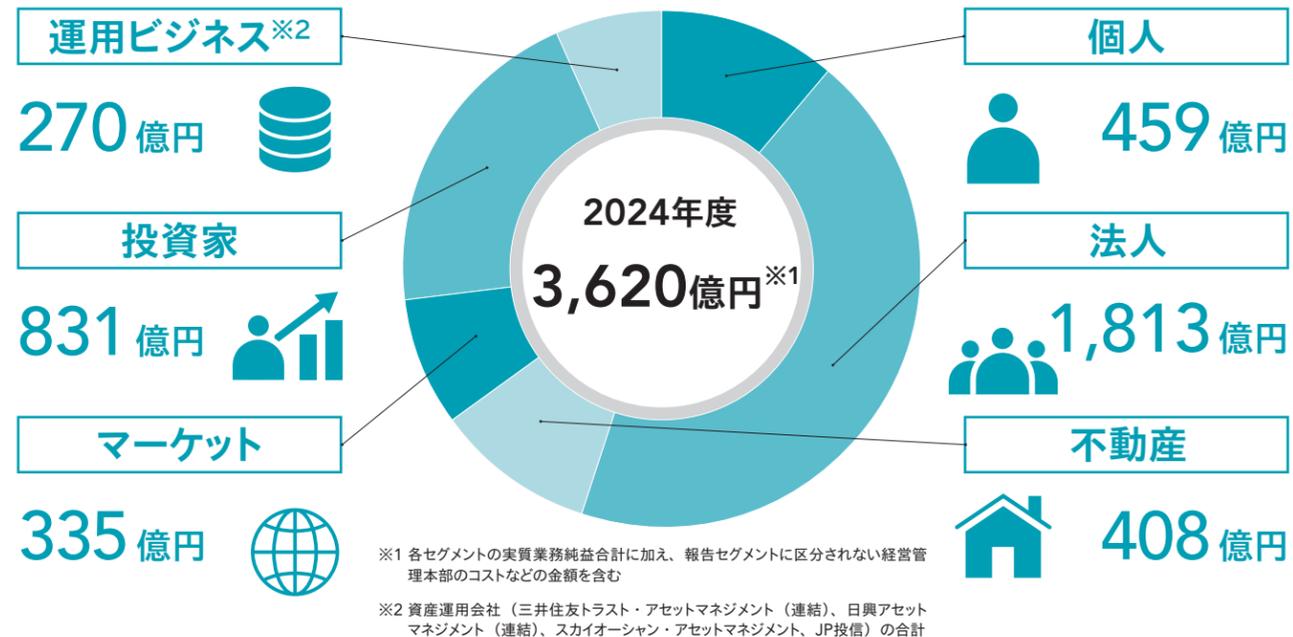
資産運用残高 140兆円

信託財産残高(資産管理残高) 263兆円

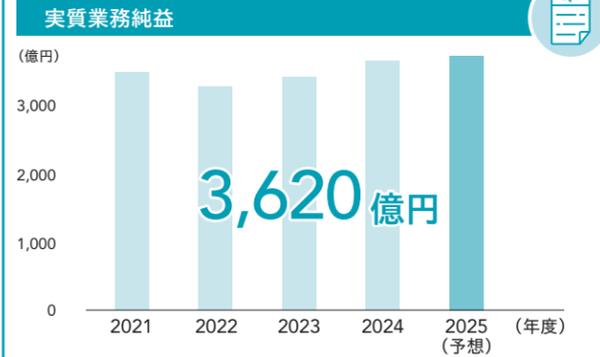
貸出残高 32兆円

アジア最大級の資産運用ビジネスや、国内最大級の規模を誇る資産管理ビジネスに強みを持ち、資本市場のインフラを支えるエッセンシャルな存在です。さらに、貸出などの銀行業務も展開しているため、金利上昇局面でも収益機会を活かせる収益基盤を持っています。

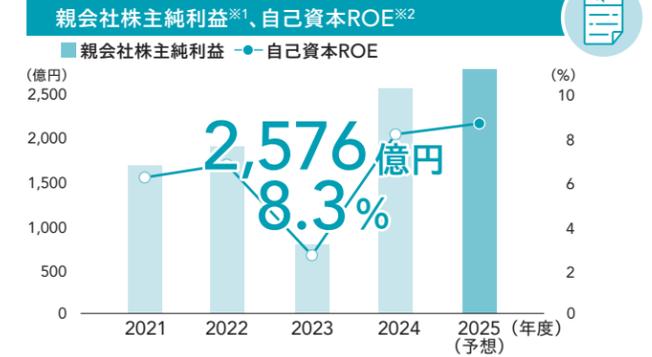
②セグメント別実質業務純益 (Q P.43)



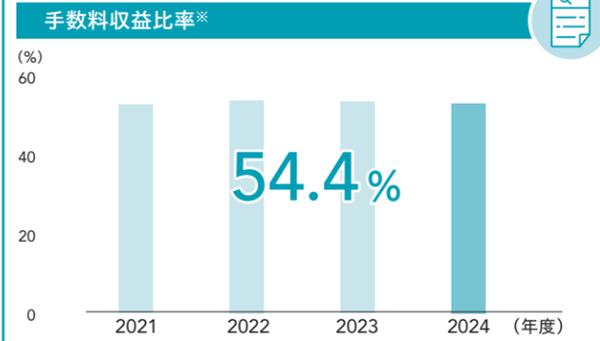
財務ハイライト・非財務ハイライト



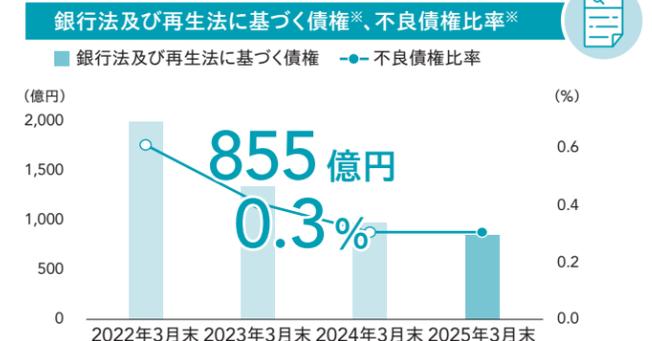
手数料関連利益が好調に推移し、円金利上昇など市場環境の変化も追い風となり、前年度比233億円増益し、3,620億円となりました。



※1 親会社株主に帰属する当期純利益 ※2 算出方法はP.12ご参照
親会社株主純利益は2025年1月公表の上方修正後の予想を上回り、過去最高益を更新。自己資本ROEは中期経営計画の目標を1年前倒して達成しました。



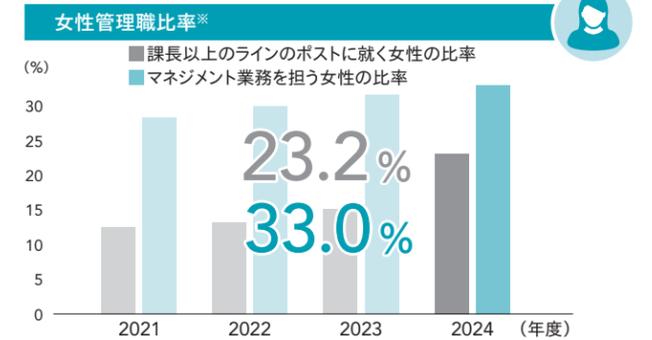
※手数料関連利益 ÷ 実質業務粗利益
資産運用・資産管理関連手数料や証券代 hands 手数料が好調な一方で、法人与信関連手数料は特殊要因により減益だった結果、手数料収益比率は横這いに推移しました。



※三井住友信託銀行 (単体)
2025年3月末の総与信33兆円に対し、不良債権比率は0.3%と引き続き健全な水準を維持しています。



※1 三井住友トラストグループおよびグループ連結子会社の国内外拠点 (持分法適用会社は除く)
※2 三井住友信託銀行国内拠点は「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に準拠して算定
Scope1・2排出量は3年で約7割削減し、再エネ導入や省エネ推進により、脱炭素化に向けた経営を着実に推進しています。



※三井住友信託銀行
三井住友信託銀行では、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、女性活躍推進の取り組みを加速させています。

